

平成 25 年度 みえ市民活動ボランティアセンターの事業報告

平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日の 1 年間、みえ市民活動ボランティアセンターでは、施設管理、調査事業、ニュースの発行、イベントの開催などさまざまな事業に取り組み、多くの皆様にご参加・ご協力いただきました。今号では特集として、昨年度の取り組みの一部を少しだけ紹介させていただきます。

施設管理

毎年 1 月 4 日～12 月 28 日の 9 時～22 時まで、みえ市民活動ボランティアセンターを中心にアスト津 3 階全体の「みえ県民交流センター」の施設管理・運営を行っています。



みえ市民活動ボランティアセンター利用者・利用団体数

年間利用者数 64,933 人
のべ利用団体数 3,967 団体

みえ市民活動ボランティアセンターには、県内外から市民活動やボランティアに関する情報等が多数寄せられています。それらの情報をわかりやすく分類し整理しました。

また 1 年に 1 回の利用者アンケートや年 2 回の外部評価委員会の開催を通じて、利用者の皆様の率直なご意見やご提案をお聞きし、施設運営の改善・向上の参考にさせていただきました。

NPO人材育成セミナー



県内各地域の市民活動（支援）センターや中間支援団体と連携し、県内の市民活動人材を養成するセミナーを行いました。

第 1 回 2013 年 10 月 24 日
お金がない！会員がない！を
解決するヒント勉強会

共催 いなべ市市民活動センター
とういんボランティア市民活動支援センター
NPO 法人みえきた市民活動センター

第 2 回 2014 年 2 月 1 日
市民活動・NPO の活動の見せ方・広げ方

共催 鈴鹿市、亀山市
NPO 法人市民ネットワークすずかのぶどう
鈴鹿 NPO サポートセンター

第 3 回 2014 年 3 月 7 日
住民同士がささえあう絆づくりのヒントとは？

共催 四日市市なやプラザ運営委員会

【成果】各地域の課題に直結したテーマであったことから、注目度は高く、地域から多くの参加者が集まり、かつ高い評価もいただきました。

中間支援団体のあり方に関する研究会



三重県では「新しい公共」やこれに基づく「協創」の三重づくりを目指す中で、中間支援団体の重要性が指摘されています。改めて中間支援団体の課題や役割を互いに学び合うことで、その「あり方」を模索する研究会を開催しました。

- 第 1 回 NPO は何をやっているの？ コーディネーター：松井真理子
第 2 回 NPO の財源と中間支援組織 コーディネーター：服部則仁
第 3 回 民と民をつなぐためには コーディネーター：米山哲司
第 4 回 NPO が社会を変える～政策提言機能をどう果たすのか
コーディネーター：松井真理子
第 5 回 三重県中間支援組織実態調査の結果分析と今後の展望
コーディネーター：松井真理子

【成果】行政関係者や中間支援団体だけでなく、事業系 NPO 法人の代表や企業の経営者および CSR 担当者、県外 NPO 法人スタッフなどが集まり、さまざまな角度や立場から意見交換がなされました。

NPO相談

昨年度は定期的な相談会を実施するのではなく、随時スタッフが対応することで相談者にとってより利用しやすい形にしました。



【成果】難しい相談は、他のスタッフや三重県 NPO 班と連携を行うことで相談者の満足を得られるように努めました。日々の相談業務の中でよくある相談を「NPO相談Q&Aカード」として作成し、利用者の皆様に気軽に持ち帰っていただけるように、アスト津 3 階に設置しました。今後も更に相談対応の充実を図っていきたいと思います。

市民活動ボランティアニュースの発行・配布



県内の市民活動やボランティアに関する情報の収集・発信を行い、その情報を県内外の多くの方々に知ってもらうとともに、市民活動団体やボランティア団体の自立や活動支援を行うことを目的としています。

【成果】 毎月 10,000 部を発行し、各号 1,337 カ所に発送しました。

昨年度に引き続き、より多くの方に読んでいただけるようデザインや中身をリニューアルしました。協創のヒント集から記事を抜き出した「クローズアップ協創のヒント集」、NPO に関わる方の 1 日を切り取った「活動のぞき見隊」、NPO に関わるきっかけをインタビューした「マイ NPO 物語」等を追加しました。同じく新たに加わった「三重ぐるり」のコーナーでは、三重県内各地域（北勢、中勢、南勢、伊賀、東紀州）の 9 つの中間支援団体と連携し記事を提供していただくことで、ネットワークの活用と多くの人へ幅広い団体の紹介をすることができました。

多文化理解イベント Hand in Hand! みえの地球市民 「みえの国際貢献」ダイレクトリー作成 世界の NPO・ボランティア活動・地域コミュニティ講座



多文化共生社会の実現のため、在住外国人との共生社会づくりに向けて理解いただく機会となるイベント「Hand in Hand! みえの地球市民」、県内で国際的な活動を行っている団体を把握する「みえの国際貢献ダイレクトリー」、三重県在住の諸外国の方に祖国の NPO や地域コミュニティのあり方などを紹介していただく「世界の NPO・ボランティア活動・地域コミュニティ講座」を開催しました。

【成果】 「Hand in Hand!」では、県内で留学生の多い三重大学、鈴鹿国際大学、四日市大学と連携を行い、学生自らが主体となった企画を学内外で実施することにより地域での広がりをつくっていくことができました。アスト津会場では来場者と留学生の積極的な交流もあり満足度の高い企画となりました。「国際貢献ダイレクトリー」は、80 団体以上の団体情報を掲載することで活動の「みえる化」を図ることができました。「地域コミュニティ講座」は 2 回開催し、他講座とは異なる層に参加していただいたことでネットワークの幅を広げることができました。

各市町中間支援団体等との 連携による情報収集、データの更新

三重県内の市町や市民活動（支援）センターと連携して、市民活動団体情報の整理と共有を行いデータベース化して情報公開・発信をしていくことで、市民活動に参画する人や組織を増やす機会を提供することを目的としています。

【成果】 データベースの登録団体数は平成 24 年度より 207 団体増加し、2893 団体となりました。三重県、16 の市町、13 の市民活動（支援）センター、21 の社会福祉協議会、1 つの民営センターと連携しました。



市民活動・NPO 月間 協創シンポジウム

市民活動・NPO 月間として、12 月に三重県全域で NPO に関する合同キャンペーンを行い、県民の NPO への関心を高める取り組みを行いました。1 月にはシンポジウムを開催しました。詳細は、市民活動ボランティアニュース 2014 年 2 月号をご覧ください。

NPO グレードアップセミナー



NPO 法人に関する制度改正、NPO の資金づくり等、重要なテーマについて外部講師を招いてセミナーを行いました。平成 25 年度のテーマは「認定 NPO 法人」、「助成金」、「寄付」。

2013 年 10 月 8 日 講師：三重県 NPO 班職員 他
認定 NPO 法人の申請と運営を考える

2013 年 12 月 13 日 講師：荻上 健太郎さん（日本財団）
一度はホンキで挑戦してみたい団体のための助成金セミナー

2013 年 12 月 17 日
講師：佐藤大吾さん（ジャスト・ギビング・ジャパン）
ホンキで寄付を集めて活動を広げたい団体のための寄付セミナー

【成果】 認定 NPO 法人に関するセミナーでは、実際に認定を取得された団体に現場の生の声を聞かせてもらうことができました。助成金セミナーでは審査する側の視点を、寄付セミナーでは実践的な 1 年計画をつくるワークを行いました。

調査研究

三重県内の公設公営、公設民営、民設民営の中間支援団体にアンケート調査を行いました。調査の集計結果を「第 5 回 中間支援団体のあり方に関する研究会」で報告し議論しました。平成 26 年度にはこのデータをもとにヒアリングをし、より精度の高いデータにしていけます。